

## 平成28年度山形県教育センターの経営について

平成27年度経営評価委員による年度末評価での意見・要望等	平成28年度以降に向けた取組み等
<p><b>1 経営全般、研修事業について</b></p> <p>○アンケートについては、素晴らしい評価で内容の充実ぶりがうかがえる。ただし、素晴らしいことしかわからない。記名で遠慮が出ることも考えられる。改善のヒントのためなら、無記名のほうがいろいろな意見が出るのではないか。</p> <p>○新規採用教員研修の日数を変更（縮小）し、いよいよ2年次研修が行われるが、その実施に当たっては今年度実施した研修の評価を踏まえたものとする必要がある。まずは、今年度1年間の評価（日数、内容等）をしっかりと行い、効果的な運用が図られるようお願いしたい。</p> <p>○教員経験年数に応じた研修があるが、10年で止まってしまう印象が否めない。指導分野だけでなく、学校経営（校務分掌）にかかわる講座等の新設により、中堅層に経営参画の視点からはたらきかける魅力ある研修の必要性を感じる。</p> <p><b>2 研究事業、相談・支援事業について</b></p> <p>○これまでも学校が抱える喫緊の課題に対する研究・研修事業を行う中、今年度は特に大きな施策となっている「探究型学習」に関する研究事業を担ってもらい感謝している。教員も関心の高いテーマであり、校種を越えた様々な研究を行いながら、本県教育をリードする大きな成果が出てくることを期待したい。</p> <p>○特別支援教育制度が19年4月に始まり、10年を迎える。「必要な子どもへ必要な支援を」という原点の普及啓発を、10年を期に再度担当者全体で全ての学校に行う必要を感じる。センターの研修のちょっとした時間の活用でできることもあると思う。</p> <p><b>3 その他</b></p> <p>○研究・研修・相談の3本の柱を支えるのが、「情報源」としてのセンターであると考えて。まずはその手がかりとしてセンターが有する知的資源の公開に取り組むことはいかがが。</p>	<p>○平成28年度より、18の専門研修講座について、無記名でのアンケート記入を取り入れ、講座改善に努めていきます。</p> <p>○初任者研修については、本人及び学校、各教育委員会等からの実施報告書により、成果と課題をまとめ、平成28年度から実施の2年次フォローアップ研修の運用、平成29年度より実施の3年次フォローアップ研修の構築につなげていきます。</p> <p>○中堅層の教員に対する研修の在り方については、研修体系検討委員会（県教育庁各課で組織）において継続して検討していきます。さらに、教育センターとしては、平成29年度が専門研修講座改編にあたるので、適切な講座開設に努めていきます。</p> <p>○探究型学習の授業の在り方について、長期研修生を受け入れながら、校種を越える理論研究や、校種による違いを踏まえた授業デザインの研究等を進めます。また、Webを活用した、発信と交流により、探究型学習の推進を図ります。</p> <p>○平成28年度は、全ての指定研修の中で、「障害者差別解消法」について説明する時間を確保しています。その中で、特別支援教育の原点についてもふれていきます。また、特別支援教室と連携をとりながら、コーディネーター研修やその他各種研修会で、普及啓発を進めていきます。</p> <p>○県教育センターによる、これまでの発行物について、Webページでの検索や閲覧の対象を広げることができるか、検討します。</p>

※以上のほかにも、経営評価でいただいた御意見（「平成27年度経営評価委員による年度末評価」）を踏まえ、今年度の経営を進めます。